

町のうごき

本籍数	6,072
本籍人口	18,064
世帯数	5,173 (5,179)
住民登録人口	18,583 (18,598)
内訳	男 9,093
	女 9,490

2月1日現在

()内は昭和59年1月1日現在

広報 てんのり

No.259

昭和59年

3月1日発行

発行・秋田県天王町役場 ☎(0188) 78-2211~4
 編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 ☎(0188) 23-7477~8

全日本綱引き大会



一糸乱れぬ呼吸で綱を引く青年部



試合前に綿密な打ち合わせをする女子部

あっぱれ江川漁協!



堂々の準優勝

全日本綱引き大会が、2月12日東京太田区立体育館で行われ、秋田県代表として出場した江川漁協青年部・女子部のおしどりチームは、実力を遺憾なく発揮し見事準優勝に輝いた。

先の県大会で、むかうところ敵なしの強さを見せた青年部は、この大会でも持ち前の気力とパワーで対戦チームを撃破。宿敵北海道代表の置戸町人間ばんば一世チームとの決勝戦では、どちらも相譲らぬ

横綱相撲となったが、最後力尽き昨年の大会での雪辱はならなかった。

また、昨年の覇者として追われる立場にたたされながらも大奮闘した女子部は、決勝戦で青森の横内フレンドチームに敗れ、2連覇達成にあと一步のところで涙をのんだ。

しかし全国的な綱引きブームに、各出場チームの力も接近してきている折、男女そろっての準優勝という快挙は、普段の練習の成果が実ったものと高く評価され大会関係者をうならせた。

町民待望の

町立図書館完成



△ 明るく広々としたホール



待ちに待った町立図書館が昨年十二月に完成し、二月二十四日関係者多数出席のもと竣工式が行われた。

情報量の増加、余暇利用の活発化など日に日に多様化する今日にあつて、町民の要望に応え得るこの情報センターは、冷暖房完備、鉄筋コンクリート二階建ての威風堂々としたもの。

既に蔵書の搬入や備品も整備され四月一日のオープンを待つばかりとなっている。

「読書は心のオアシス」

住民ニーズに即し自由に気軽に利用できるこの図書館は学習の場として、また

いこいの場としてこれから大いに利用されることであろう。

開館のお知らせ

四月一日から七日までの一週間、一般開放し、個人の貸出券の発行をいたしません。

※ 図書の出出しについては四月八日から行います。

尚、開館及び利用時間等については、広報四月号に掲載いたします。

※ 図書館開館準備のため今年一月から公民館図書室を閉鎖し、大変ご迷惑をおかけしています。



△ 書籍等の保存、展示ホールに利用される郷土資料室



△ いろいろな図書が分類別に整備される成人・児童閲覧室

**町営バスを
五月一日から運行**

町では、路線の確保に務め
翌五月一日から県内初の町営
バスを運行します。

在来の塩口線バス(中央交
通)が四月三十日で廃止にな
ります。

運転手を募集

町では、町営バス(現塩口線)を運行することにもない運転手を募集いたします。次の事項をご留意の上、お申し込みください。

- ▽資格 昭和五十九年四月一日現在で満三十二才までの健康な男子で、大型二種免許を有する本町住民二名
- ▽雇用時期 昭和五十九年四月一日より
- ▽試験の方法 口述試験(面接)を行います。
- ▽申し込み 昭和五十九年三月二十一日

日迄、健康診断書及び履歴書に写真を添付のうえ、役場総務課へお申し込みください。

(なお、町職員の中に肉親のいる方は、ご遠慮ください)

管理作業員を募集

追分地区公園野球場及び下浜山保全林管理棟の管理作業員を募集しますので、次の事項をご留意の上、お申し込みください。

- ▽資格 昭和五十九年四月一日現在で満二十才以上三十才未満

追分地区公園野球場及び下浜山保全林管理棟の管理作業員を募集しますので、次の事項をご留意の上、お申し込みください。

- ▽資格 昭和五十九年四月一日現在で満二十才以上三十才未満

私はゴミです。私たちがゴミは、各家庭で燃えるゴミと燃えないゴミに分けられた後、新しい処理施設・湖南地区衛生センターに運ばれることになっています。



の健康な男子(本町住民)で、普通免許を有する者

- ▽職種 普通作業員
- ▽雇用期間 昭和五十九年四月一日から昭和五十九年十一月三十日まで
- ▽社会保険 雇用保険及び労災保険を適用します。
- ▽賃金 月額五千三百円を支給します。
- ▽募集人員 二名
- ▽試験の方法 口述試験(面接)を行います。
- ▽申し込み 昭和五十九年三月二十一日

追分長沼団地分譲住宅募集

秋田県住宅供給公社では、追分長沼団地分譲住宅の申し込みを受け付けています。

◎ 詳細については、住宅供給公社または、役場建設課へおたずねください。
(住宅供給公社：六一五五) (役場建設課：六一三三)

郷土史コーナー [137]

学校教育の沿革⑫

—東湖分教場の設置—

「元天王小學校敷地二分教場」設置シ天王部落尋常科第四学年迄ノ児童ヲ収容スルヲ相當ト認メ、これを認可申請する件が、昭和十一年八月の村議会に上程され、可決された。「天王部落ハ本村ノ大部ヲシテ通學児童多ク従来學校所在地タル長キ関係ヲ有スル土地柄ナルヲ以テ此際全部落ニ対シ分教場ヲ設置シ幼年児童収容ノ必要ヲ認ムルニ由ル」と理由を付している。

翌十二年七月の議会で

○東湖分教場設置ノ件ハ、議決後六ヶ月ヲ経過シ居ルニ拘ラズ未ダ着セヌハ如ナル理由デスカ。

と、地元選出の議員が業を煮やして、質している。分教場設置申請は容易に認可されたが、校舎建築は、村財政上から

遅延せざるを得ず、かつての役場跡地にあった連絡事務所の狭い建物がひきつづき校舎として使用されていたのである。

そこで、戸主会(現在の本郷会)が陣頭に立って、分教場の校舎建設に当たったのである。なにが、なんでも先ず建てねばならぬと言う熱気が事務報告から伝わってくる。

頻繁に役場に足を運び、会合をもつては、策を講じている羽立北野の焼け残った体操場の半分を取り壊し、用材とすること。焼失した前の校舎の土台石を売り払い資金の一部とすること。寄附金を集めること。

工事途中、暴風のため倒壊するといふ不慮の事故が起こったが、部落民総出で復旧に当たり、竣工検査を終えたのは起工式を行った十三年十一月から三ヶ月後の翌二月のことであった。

この校舎建築に要した経費は、六、三二七円九五銭でありこのうち村費は三、五〇〇円であり、他は、地元民の寄附金戸主会出金によるものであった。また、支出の大部分は大工の工賃で、その額は、五、八五五円であった。用材費はわずかに四〇円であった。

竣工した年から雨もりに悩まされた安普請の校舎で東湖分教場の教育は、二十三年まで、四学年四学級として営まれたのである。(石川記)

第一期(昭和12年~23年)
昭和12年天王尋常高等小学校東湖分校として設立される 4教室 4学級

わたしと天王町

もへきくだじやぐと
もへきかぬだじやぐ



追分小教諭
高橋博清

一面的な見方である事を、百も承知で言わせてもらえば昔から天王の男性は「だじやぐ」であった。我が強く、負けず嫌いで喧嘩つばやく、とにかく「だじやぐ」であった。私が男鹿市内の中学生だった頃から天王の悪童連のだじやぐさは、男鹿南秋一円に、鳴りひびいていた事を覚えて

いる。私が知り得た天王の友人たちも、少なからずその気のあつた人たちであるが、本質的には、実にさっぱりとしていて活動的で正義感の強い、何より「もへきくだじやぐさ」があるのである。どんなに悪ぶってみても「もへきくだじやぐ」は稚気満々。どこか可愛い気があり、心を許せるものがあるし、こころ一番に彼等の發揮する前向きエネルギーは、素晴らしいものがある。しかし、最近の非行、特に家庭内暴力・校内暴力等に見られる少年たちを見るにつけ「もへきかぬだじやぐさ」を感じるのは、私だけであろうか。目的を見い出せないままに荒れている彼等を見ていると、いいようのない寂しさを覚える。



「再会の喜びに
ふるさと天王会
十周年を迎える」

「再会の喜びにふるさと天王会十周年記念祝賀会が、二月四日東京新宿の日本青年館で盛大に催された。本町出身者で

最後、キャンドルサービスが行われ、ふるさとをしのんで合唱。会員はふるさとへの思いに目がしらを熱くしていた。



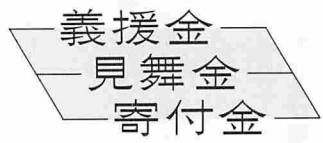
祝
ふるさと天王会
十周年を迎える



飛び散る祝酒に会場から拍手がっさい。

日本海中部地震

心暖まる



ありがとうございました

昨年の日本海中部地震に際しては、被災をうけられた方々に県内各方面からたくさんの義援金・見舞金が寄せられました。

また町の方にも、心暖まる寄付金が届けられ災害復興資金の一部とさせていただきます。

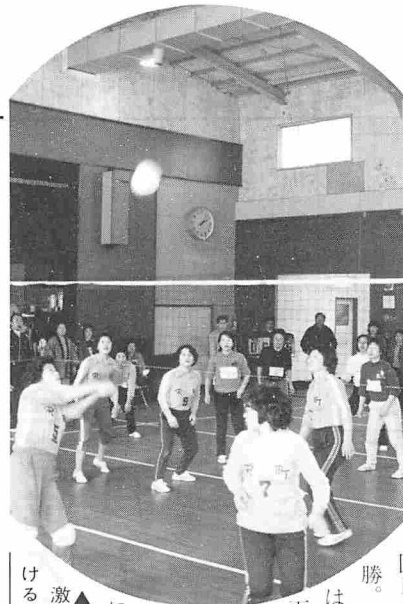
昭和58年度会計年度末にあたり、ここに厚く感謝申し上げます。(敬称略、順不同)

- ◎義援金
魁新報社、ABS秋田放送、AKT秋田テレビによる合同義援金 982,000円
日赤秋田県支部・NHK秋田放送局・県共同募金会による合同義援金 471,200円
魁新報社義援金 237,500円
日赤秋田県支部義援金 290,000円
◎県見舞金
被災者見舞金 6,200,000円 (内3,000,000円は弔慰金)
災害見舞金 828,000円
◎災害復旧寄付金
県町村会 250,000円
ライオンズクラブ国際協会(332-E地区キャビネット) 300,000円
秋田電子 50,000円
五洋電子 50,000円

二田栄町(婦部)三連覇なる

第四十回天王町家庭バレーボール大会が、二月十九日天王海洋センターを主会場に行われた。

出場し、予選リーグ・決勝トーナメントに白熱した好試合が展開された。青年の部では、攻守にまともな部では、追分チームと天王松チームがフルセットまでもつれこみ、結局追分チームが接戦をものにした。



激しいラリーを続ける主婦の部決勝戦

勝。また若妻の部では、追分チームと天王松チームがフルセットまでもつれこみ、結局追分チームが接戦をものにした。

町川柳同好会主催の第一回天王町川柳大会が、二月十二日、県内の柳人五十数名を集め町公民館を会場に行われた。当日の出句は、四百五十句。披講は、渡辺銀雨、石川雄(大崎)▽桜庭慧子(塩口) 関係の上 位入賞者は次のとおりとなった。

天王町川柳大会開かる

富司の両氏(秋田魁文芸川柳選者)をはじめとする十名の特選選者があたり、町

▽京谷京一(天王)▽吉田義雄(大崎)▽桜庭慧子(塩口)

壮年の部では追分チームが下戸Aチームを下して優勝。主婦の部では、二田栄町チームが三連覇を飾った。

▽壮年の部 優勝 追分チーム 準優勝 下戸Aチーム 第三位 天王Aチーム 三軒屋チーム

▽青年の部

優勝 羽立Aチーム 準優勝 二田二区Bチーム 第三位 塩口北野Aチーム 第三位 江川Aチーム

▽若妻の部

優勝 追分チーム 準優勝 天王松チーム 第三位

成績は次のとおり

男子の部

優勝 五洋電子クラブチーム 準優勝 天王本郷クラブチーム 第三位 秋田天王職業訓練校 出戸新町クラブチーム

女子の部

優勝 追分エースチーム 準優勝 フラワーズAチーム 第三位 天王Aチーム 出戸新町マミーズチーム

ふるさとペンリレー

Going My Way



沢井 昭子

(二田出身)

ふるさとは、遠くにありて思うもの……。女優を目指し上京して、早や1年。私は今、お芝居やジャズダンスのレッスンを一生懸命です。こちらでの生活に少しずつ慣れてはきたものの、私には考えもつかないような人間関係にとまどったり、思うように上達しないレッスンに腹が立ち、とても悲しくなることもあります。そんな時、自分を落ちつかせるために考えるのは、いつもふるさと天王町のことです。

今年、東京では5年ぶりに雪が積りました。朝起きて窓の外を見ると真白!思わず自分は今、秋田にいるのではないかと思うくらいです。滑るやら転ぶやらでけが人もたくさんでました。でも私は大丈夫、小さい頃から雪とは楽しむものだと思ってきたから。小学生の時などは、近くの境内でよく肥料袋にワラを詰めた手製のソリで暗くなるまで遊んだものです。この冬、秋田に帰った際に神社境内をのぞいたら、プラスチック製のミニスキーやソリで子どもたちがやんやの歓声をあげていました。

私の帰りを待ちわびる祖父は、「昭子がテレビに出るまでは元気ががん張る」といい、そして私を暖かく包んでくれる両親、祖母。こんな家族とステキな思いがあるというだけで、私はがん張ることが出来ます。ふるさとのみなさん、どうかこれからもよろしくお願ひします。

健診の日程表

月日	健診名	対象	受付時間	会場
3月9日	1才半児健診	昭和57年8月生	12:30~13:00	二田地区ことぶき荘
3月16日	7ヵ月児健診	昭和58年8月生	12:30~13:00	天王町公民館
3月23日	4ヵ月児健診	昭和58年11月生	12:30~13:00	天王町公民館

6人制バレーボール大会

五洋電子(男子)が優勝

二月五日、天王海洋センターを会場に第二回天王町六人制バレーボール大会が行われ、男子の部は、五洋電子クラブが、女子の部では追分エースがともに初優勝を飾った。

短歌

俳句

上北野 佐藤 生子
どん欲に割れしきくろの実の
朱し天界降りし仁王の咲呵
塩口 桜庭 慧子
ぴかぴかに磨きし車に乗せる
人を見付ける日いつ息は二十歳
追分西 小林 ワカ
町内の長老次々召され逝きさ
びしき慕る雪の降る夜は
蒲 沼 鎌田 昭子
旅に住む息子に似たる若者の
うしろ姿を見つつ符む
上江川 三浦 絹子
御節料理に飽きたる朝は熱々
のふろふき大根いとも美味き
長 沼 渡部チヨノ
また一つ年をかきかねて向かう
鏡鑿のほつれげ白さましけり

持谷地 安田 幽子
早春の息吹きがなほ遠くなり
塩口 桜庭 たえ
早春光まだ積雪に耐える軒
ハラへ 京谷 蒼湖
梅だより梅一輪を添えてくる
追分西 佐藤 金
幼等の節分の声根越え
天王 米谷 冬華
早春や明け立て軽き古障子

塩口 桜庭 龍一
握り飯頬張り孫に農託す
天王 京谷 京一
合理化の風に刺客の影迫る
二田 渡部 ツナ
ひとりでも生きる決意で春に
向く
塩口 桜庭 慧子
陽が昇る方から嫁っ子くるとい

国民年金

二十歳になると社会人としての権利と義務が与えられます。またそれに伴って今まではちがう責任が課せられます。与えられる権利としては

選挙権や財産の処分、金銭の貸借、就職、結婚などが自分の意志で行えるようになります

公的年金加入の義務

義務には納税の義務などがありますが、年金に加入することも義務のひとつです。

「二十歳になったばかりなのに年金の話なんて」と思うかもしれませんが、年金はお年寄りだけのものではありません。は任意加入)

はたちになったら

国民年金

年金は、お互いに協力しあって将来に備える「助け合い」なのです。会社や役所、学校などに勤めている方は、厚生年金、共

済組合といった年金制度に自動的に加入しています。(サラリーマンの奥さんや大学生は任意加入)

支給される年金額は、物価や生活水準にあわせ五年に一度見直しされる他、物価が五パーセントを超えて上昇したときは「物価スライド制」が導入されて年金額は、自動的に引き上げられます。この制度により将来とも安心というわけです。

「備えあれば憂いなし」年をとってからや事故にあつてからでは間にあいません。年金制度を正しく理解して必ず加入するようにしましょう。

青少年健全育成大会

三月十日に

第十三回青少年健全育成大会が次のとおり開かれます。三月は節目の月、活力あ

る社会の建設のためには、健全やかな子どもの成長こそが肝心です。

とき 三月十日(日)午後一時

ところ 天王町公民館

講師 やまびこ電話相談員

細矢十四子(やまびこ電

話に寄せられる親の悩み、子の悩み)

押してぐる海鳴りや春一番
野犬飢えて光る雪解の水溜り
鳥帰る光る干渴の水溜り
鳥帰る明日へ早寝の農一家
古芒夕日に染みて埋立地
蹄まだやわき牝牛や草萌ゆる
食器音水跳ねかえり早春光
シャボン玉ひとつひとつに
春の空

俳句「早春'84」

渡部 六愁

ジュニア卓球大会が、三月二十五日(日)午前九時から、天王海洋センターを会場に開かれます。

慶弔だより

お誕生おめでとう (一月中旬)

- | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|------|
| 北野 | 加藤 昇 | 二田 | 中村 和広 | 北野 | 鎌田 鉄秋 | 長女 | 奈都子 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 二男 達矢 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |
| 北野 | 高橋 重信 | 二田 | 二男 尚 | 北野 | 長女 哲 | 長女 | 哲 | 北野 | 小野 春 |

○ 天王字羽立三七一の鈴木克治さんより、母キナさん死亡の際の香典返しとして金三万円

○ 天王字北野二九九一二六の小野キミさんより、夫春蔵さん死亡の際の香典返しとして金五千円

○ 天王町ダンスクラブ(代表 畠山智恵子)より、チャリティ・パーティ収益金として金一万九百十二円

○ 横浜市旭区四季美台八四一六〇の児玉英一さんより、母児玉フサさんの一週忌に際し寄附金として、金五万円 ともありがとうございました。

- | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|------|
| 二田 | 渡部 政一 | 二田 | 中村 和広 | 北野 | 鎌田 鉄秋 | 長女 | 奈都子 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |
| 二田 | 長男 政仁 | 二田 | 長男 豊 | 北野 | 長女 瑞枝 | 長女 | 枝 | 北野 | 小野 春 |

○ 善意ありがとう

このたび、町社会福祉協議会に次の方々から善意が寄せられた。

本荘市 工藤 哲
追分西 山口 フミ子
おくやみ申し上げます